

## 令和5年10月13日 福岡市合同人権保育研修会

福岡市こども未来局子育て支援部指導監査課が主催されている「合同人権保育研修会」にて講師として登壇させていただきました。

研修会に参加された皆さんは、福岡市の公立・私立保育園の主任保育士の方々です。

内容は、「子どもの意欲を伸ばす大事な視点」と題してお話をさせていただきました。

具体的には、

① 発達障がいとは？

② 常識とは？

③ 保育園に特別支援を取り入れる

④ 子どもの意欲を伸ばす関わり方のポイント

などのテーマを通して講義とワークを織り混ぜて進めていきました。

現在、保育園は大きな岐路に立たされています。待機児童問題が解消されたのも束の間、今度は少子化問題と人材不足問題。そして、昨今メディア等の報道で見聞きする機会が増えた事故や不適切保育の問題。

現場の保育士の皆さんは毎日懸命に子どもたちのため、保護者のためにたくさんの愛情を持って働いていらっしゃいます。本当に頭が下がります。

様々な問題はあるにせよ、発達特性を持つ子どもの増加等に起因した子どもの個性や気持ちを最優先に考える子どもが主役の保育や継続した支援を通した子どもの発達の見守り、地域とのつながり、保護者への子育て支援や虐待防止など、保育園の役割はとても大切で、その存在意義は益々高まっています。

今回の研修会では、「発達障がい」や「視点の切り替え」等をポイントにお話をさせていただきましたが、1番大切なポイントは、子どもも保護者も支援者も孤立させないことです。

特に保育現場で一生懸命働いている保育士の方々を孤立させないことが大切です。

いくら知識や道具が揃っていても、現場の保育士の先生が疲弊し落ち込み力を発揮できなければ、子どもや保護者に対する効果的な支援は出来ません。

今回は、主任の保育士の方々が参加されていたので、自分の園で保育士を孤立させない事や担任保育士だけの責任にせず保育園全体で支援していく体制について、じっくり話し合っていました。

